

生徒の生活によりそう「くらし」の授業づくりⅢ

會澤 加奈子 伊東 久美子 小島 啓治 尾高 邦生 小金井 俊夫 高野 裕美
西尾 真弓 松本 晃 山本 由佳 吉澤 洋人 渡邊 聡
渡邊 健治 (東京学芸大学) 濱田 豊彦 (東京学芸大学) 奥住 秀之 (東京学芸大学)

I はじめに

1. 「くらし」の授業の創設

本校高等部では、平成 13 年度から独自の授業「くらし」が始まった。この授業は文部科学省の指定研究開発「個別の教育的ニーズにこたえる教育課程と授業の実践（平成 12 年度～14 年度）」の中で新教科の試案として創設された。移行支援に関する学習は、単に進路先決定という進路指導だけではなく、高等部の学習として本人の生活全体を考慮した学習内容を準備することが求められた。卒業後の自分自身の暮らし方、さらには生き方を主体的に考え、選択し、体験を重ねる学習が独自の授業内容を持つものとして独立した授業形態をとることが必要と考えた。一方「個別教育計画」に取り組む中で出されてきたニーズの中にも卒業後の生活の仕方に関わる内容が多く見られたが、それらのニーズに応えるシステムが当時存在しなかったことから「くらし」が創られた。そこでは将来の生活に必要なであろう“スキル”の獲得だけでなく、適切に支援を求める力の涵養も含めた学習を目標とし、授業を創っていったところに一つの特徴があった。

2. 「くらし」の授業の概要

くらしの授業は「主体的にくらしを創造していく」生徒の育成を目指し、生徒たちの「生活への気づき」、「生活技能の獲得」、「主体者意識」、「必要なときに支援を受ける方法の獲得」などを目的に創設された授業である。その目標は以下の3点である。

- 生活に必要な知識と技能を身に付け、今の生活にいかしながら、卒業後の生活への準備を始める。
 - 生活の中でできることは自分でやり、必要な場合は援助を受けることを学習し、実践できるようにする。
 - 自立した生活に向けての意欲を育み、主体者として生きていく素地を養う。
- これらの目標のもと、調理、被服、住まい各分野の目標は以下のとおりである。

被服

- 被服に関する実践的な活動を通して、生活に必要な知識と技能を身に付け、生活にいかす。
- 時、場所、目的等に応じて、清潔な服装に心がけ、生活する。

住まい

- 住まいに関する実践的な活動を通して、生活に必要な知識と技能を身に付け、生活にいかす。

調理

○調理に関する実践的な活動を通して、生活に必要な知識と技能を身に付け、生活にいかす。

実際の授業は「くらし実践編」として「調理」「被服」「住まい」の3分野と「くらし知識編」の「生活知識」の4分野で成り立っている。授業は実践編が週1回2単位時間、知識編が週1回1単位時間で行われている。実践編は年間を3期に分け、1年間で各分野を学習するように組み立てられている。各学年での学習時期などは以下の通りで、各時期とも授業回数は6～7回程度である。

	第1期	第2期	第3期
	4月～7月	9月～12月	1月～3月
1年生	すまい	調理	被服
2年生	被服	すまい	調理
3年生	調理	被服	すまい

くらし実践編（以下「くらし」と表記する）の学習内容は分野ごとに学習内容一覧としてまとめている。これらについて各学習時期の当初に生徒・保護者にアンケートを取り、その結果を考慮し、学習課題を設定している

次に実践編の実際の授業であるが、各学習時期と授業の展開は以下のような手順である。

- ・生徒・保護者へのアンケートより学習課題を設定する。
- ・1回目の授業でオリエンテーション的な内容、あるいは実態把握的な内容を行う。
- ・学習課題の修正を行い、毎回の授業を行う。
- ・評価表を兼ねたふりかえりシート（ワークシート）を毎回の授業で使用し、授業ごとに生徒の自己評価と教員の評価を行う。
- ・必要と状況に応じ、同じ学習を何度か継続して行う。
- ・学習時期の最後に、当該時期に行った学習についての評価を評価表に記入し、家庭に返却する。学習のまとめを家庭に連絡するとともに、授業で行った作業を家庭で引き続き取り組むことへの参考資料としてもらう。

3. 「くらし」の授業の11年間の変遷

「くらし」の授業を開設して11年になるが、現状では、開設当初とはそれなりに様変わりしているところもある。ここでは、この11年間のくらしの学習について、学習グループの編成、評価表（ワークシート）等の変化という観点で変遷をみている。

創設当初はまだ、「自己選択・自己決定」という思潮が一つの社会的な流れであった時代である。そのため、くらしの授業にもその影響が大きく見られた。たとえば、創設当初は実践編3分野についてどれから順番に学習するか、ということも生徒の選択の対象であった。また、何を学習するかを選択するのも、現状に比べ、生徒の選択に応じて行くという傾向が強かった。そのため、実践編3分野の学習グループの決定や、個々の生徒の学習課題の設定などにも多くの調整が必要であった。授業の開設4年目より学習グループを各学年で順番に行うように変更した。生活知識に関しても当初能力別グループ編成を行っていたが、3年前より、学年単位で授業を行うように変更している。

Ⅱ 一昨年度および昨年度の研究概要

1. 「くらし」の授業の課題

「くらし」の創設から 11 年が過ぎ、知的障害児・者を取り巻く社会的状況や生活スタイルおよび生徒の実態等が変化してきた。また、日々の実践を繰り返す中で、保護者の希望や本人のニーズを尊重しながら、限られた教員数でいかに効率的な授業を行い、どのように最適な学習内容を 3 年間の見通しの中で展開していくかという課題が挙がっていた。そのためには授業づくりのもととなる「学習内容一覧」の項目やアンケートの取り方、および学習形態（個別の指導を中心としたものと集団で学習するもの）の組み方等を見直す必要が出てきた。また、高等部 3 年間での学習の発展性や家庭との連携、および卒業後への移行につながる評価方法もあわせて検討することが必要となってきた。

2. 「くらし」の授業の課題への取り組み

上記の課題を受け、一昨年度の研究は「生徒の生活によりそう『くらし』の授業づくり」をテーマに、実践編 3 分野で現状での「くらし」の課題を検討し、授業改善を図った。そして主に以下の 5 点で一定の成果が得られた。

- 1) 生徒の希望や保護者のニーズ、家庭での活動状況等の情報収集の改善
- 2) 指導内容や指導計画の改善
- 3) 生徒の課題設定の方法の改善
- 4) 手順表（ワークシート）の改善
- 5) 教材の工夫（新しい器具・機材等の導入）
- 6) 指導方法の改善

しかしながら、「くらし」の授業が全体として目指す方向性や、理想とする生徒像に関して被服、住まい、調理各分野共通の理解を図り、くらし全体を見通して何を目指し、何を教えるのかについて各分野の整合性をつけることは大きな課題として残った。この整合性を持つことは、各分野で授業を組み立て、行う上で授業に関わる人が共通に持つべき認識である。そのためには「くらし」創設時に作成された指導内容一覧をもとに、3 年間を見据えた学習の流れを再度見直し、それを再構築し、各分野共通の形のものとして整理することが必要であり、これらの課題を次年度の研究で扱うこととした。

そして昨年度の研究では「生徒の生活によりそう『くらし』の授業づくりⅡ」をテーマに、以下の内容について検討した。

- 1) 支援内容配列表と「くらし」の関連
- 2) 「くらし」のめざす方向性の検討および「学習の構成」と「家庭での評価」の作成

生徒の希望、保護者のニーズをアンケートでとり、支援内容配列表と学習内容一覧をもとに指導計画を立てる際、主体的な本人を目指した学習内容を考慮し、各分野の特性や学習の順序を考えるために「学習の構成」を作成し、それに基づいて指導計画を立てることとした。また、授業で学んだ実技の部分がその後家庭でどのように取り組まれているか、くらしに関して意欲や意識の部分で変化はあったか等に関し、「家庭での評価」をしてもらうこととした。「学習の構成」と「家庭での評価」を学習のサイクルに取り入れることに

より、次年度への学習の流れがスムーズになり、3年間を通しての「くらし」の学習の流れがより機能的になると考えた。

Ⅲ 今年度の研究内容

1. テーマの設定

今年度の全校研究テーマは「教育課程の新たな展開に向けた取り組みⅡ—主体的な自己を育てる教育支援のあり方—」である。この“主体的な自己”とは、生徒自身が現在から将来の自分を自ら考え選択していくことととらえる。そして高等部としての具体的なイメージとしては、学校生活全体を通して自ら考え、選び、学習していく生徒（主体者）を育てることと考えた。そして高等部のテーマを「生徒の生活によりそう『くらし』の授業づくりⅢ」とした。ここでの「よりそう」とは、生徒の家族によりそう、生徒の生活実態によりそう等いろいろ考えられるが、一番大切なことは、生徒自身が「生活の主体者になりたい」「大人になりたい」という気持ちを持ち、その気持ちによりそうことである。そこで「くらし」の授業づくりにおいては、生徒自身が自分で自分の「くらし」を作っていこうとする気持ちを育むことができるよう、思考・関心・意欲を育むことを大切に考えた。

2. 研究の概要

上記のテーマ設定に基づき、以下の内容について検討することとした。

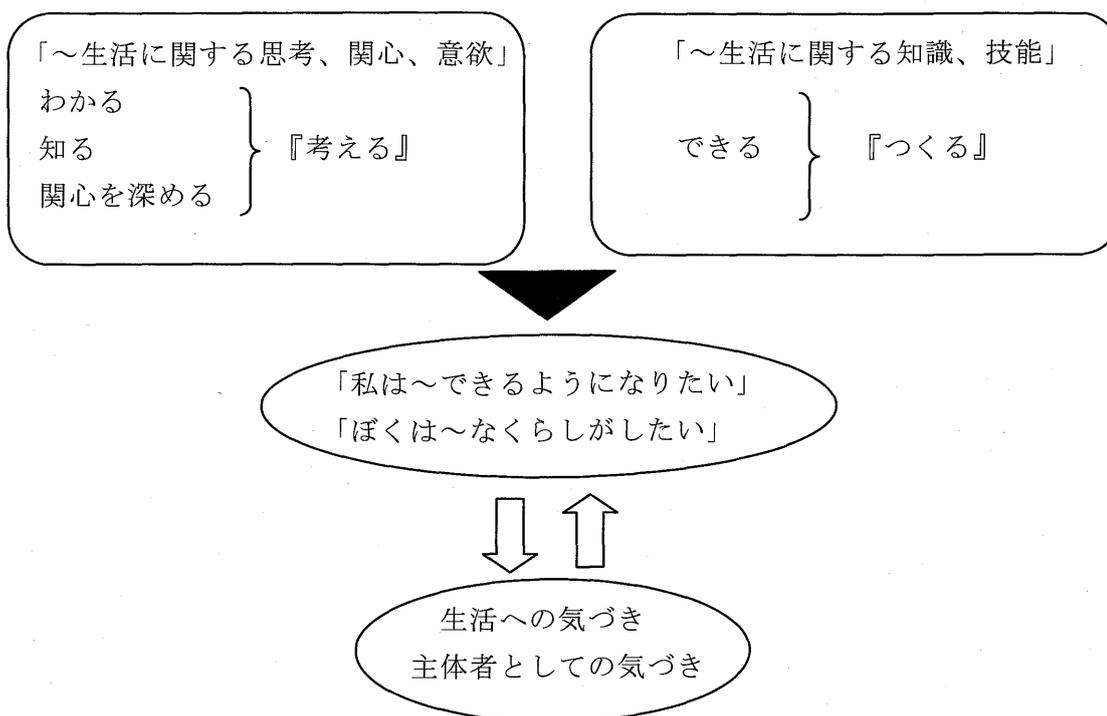
- 1) 「くらし」各分野（被服、住まい、調理）の「学習の構成」の見直し・改訂
 - 2) 上記1)を受け、「くらし」各分野（被服、住まい、調理）の「学習内容一覧」の見直し・改訂
 - 3) 上記1) 2)を受け、「くらし」各分野（被服、住まい、調理）の「評価表」の作成
 - 4) 生徒の生活によりそう授業づくり
-
- 1) 「学習の構成」の見直し・改訂

① 「学習の構成」作成にあたっての基本的な考え

「くらし」創設の際の基本的な考えである「卒業後の自分自身の暮らし方、さらには生き方を主体的に考え、選択し、体験を重ねる学習が独自の授業内容を持つものとして独立した授業形態を取ることが必要と考えた」を踏まえ、「くらし」の目標の中の「自立した生活に向けての意欲を育み、主体者として生きていく素地を養う」ために何が必要であるのかを考えた。

「くらし」の授業は実践編という名称がついている通り、技能の習得を目指す側面を持っていることは確かだが、その技能の習得を裏付けるためには、生活を主体的に切り開いていこうとする力を育成し、「わたしは～できるようになりたい」「ぼくは～なくらしがしたい」といった生活への気づき・意欲の育成も同時に行わなければならない。将来の自分が「どんな仕事をしているのかな?」「給料でなにを買おうかな?」「週末はなにをして過ごしているのかな?」等、どのようなくらしをし、どのような人生を送るのかを生徒自身で考える機会を設けることも必要である。このように生徒自身が自ら自分のくらしを『考える』視点を、技能の習得と同じレベルで並列して明示したことが「学

習の構成」の大きな特徴である。



② 「学習の構成」の見直し・改訂にあたって

支援内容配列表の生活支援の目標から取っていた学習内容の文句「生活を主体的に切り開いていこうとする力」に関わる学習内容、「基礎的な知識や技能、態度」に関わる学習内容をそれぞれ「衣/住/食生活に関する思考、関心、意欲」と「衣/住/食生活に関する知識、技能」の簡潔でわかりやすいことばに置き換えた。そして3年間の流れ（縦軸）を見やすくすると同時に、「～を考えよう」と「～をつくろう」（横軸）に、より関連性を持たせるよう見直しをした。

なお、「被服」「住まい」のステップは学年で、「調理」のステップは技能で分けている。

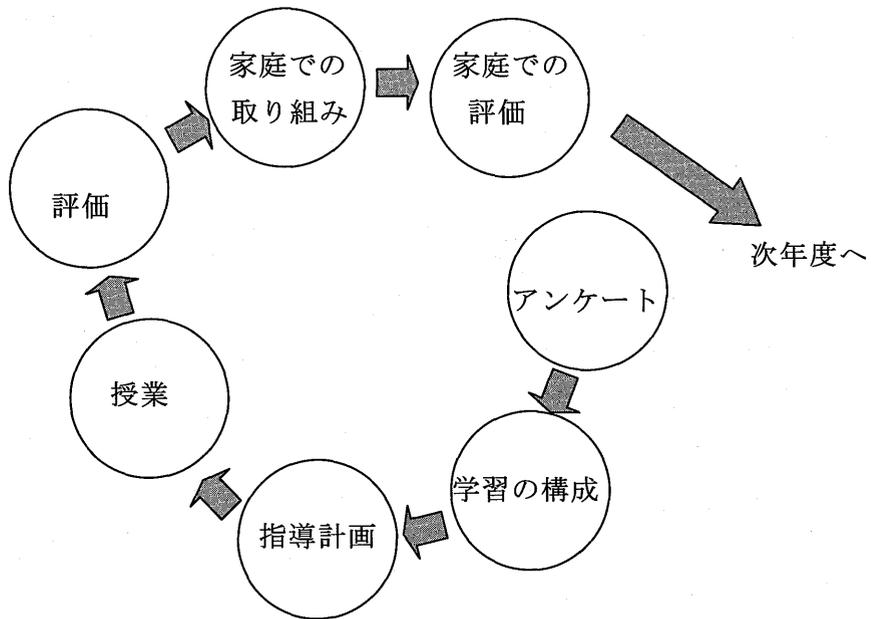
2) 「学習内容一覧」の見直し・改訂

「学習の構成」の改訂に伴い、「学習内容一覧」も見直す必要が出てきた。各分野に関する「思考、関心、意欲」と「知識、技能」を別々に項目だてし、各分野同じ形式に揃え、表現もばらつきのないようにした。

3) 「評価表」の作成

- ① “総合”の評価表を作成し、思考、関心、意欲、知識、技能等の総合的な評価を記載する。
- ② 授業で行ったことを引き続き家庭でも取り組みやすくするよう、支援の方法を具体的に記入する。
- ③ 校内での引き継ぎ資料としても活用できる形式にする。
- ④ 各分野同じ形式に揃え、表現もばらつきのないようにする。

4) 「学習の構成」「学習内容一覧」「評価表」を加えた「くらし（実技）」の学習システムのイメージ



※ システムの前提として「学習内容一覧」がある

IV 被服、住まい、調理各分野からの提案

1. 被服

1) 「学習内容一覧」改訂版

くらし「被服」分野 学習内容一覧

1. 衣生活に関する思考、関心、意欲

1	衣類の役割を考える。
2	色々な種類の服装や流行のデザインを知り、衣服に対する興味・関心を深める。
3	自分らしい服装、自分の身体に合う服装について考える。
4	家庭における衣生活に関する仕事の役割分担を考え、自分の役割を果たそうとする意欲を高める。
5	家庭における自分の役割分担の拡大やスキルアップについて考える。
6	場面や目的を考えた服選びをする。
7	服のコーディネートや着回しについて考える。
8	衣類の値段や、購入の仕方について考える。

2. 衣生活に関する知識、技能

1	衣服を管理する目的や必要性が分かる。
2	安全や衛生に気を付ける（洗濯機、アイロン、ミシン、はさみ、針、洗剤等）。
3	必要な用具を準備したり、使ったものを片付けたりする。
4	衣服をもみ洗いする。
	4-① もみ洗いの手の使い方が分かる。
	4-② 汚れに気づき、洗剤を使ってきれいにする。
5	靴を洗う。
	5-① 上履き等のひものない靴を洗う。
	5-② スニーカー等のひもや中敷き等のある靴を洗う。
6	つけ置き洗いをする。
	6-① つけ置き洗いの手順が分かる。
	6-② 洗剤の種類や使用する量が分かる。
7	洗濯機を使用して洗濯をする。
	7-① 洗濯の流れを知り、洗濯機を操作する。
	7-② 適量の洗剤を使う。
	7-③ 洗濯ネットを使用する。
	7-④ 洗濯機の機能を活用する（モードの選択、時間の設定、お湯とり等）。
	7-⑤ 色、汚れ具合等に応じて衣類を分別して洗濯をする。
7-⑥ 洗濯機の使用後の手入れをする。	
8	取扱い表示が分かる。
9	しみ抜きをする。
	9-① 外出時に出先で衣類が汚れた時の応急処置が分かる。
	9-② 漂白剤の使い方が分かる。
10	洗濯物を干す。
	10-① 角ハンガーに小物を干す。
	10-② ハンガーを使って、衣類を干す。
	10-③ 日当たりや通気性を考えて干す。

		洗濯物を取り込む。
1 1	1 1-①	乾き具合を確認して、洗濯物を取り込む。
	1 1-②	角ハンガーやハンガーから、衣類を外す。
		衣類をたたむ。
1 2	1 2-①	ハンカチやタオル等をたたむ。
	1 2-②	下着や靴下等をたたむ。
	1 2-③	Tシャツやトレーナー等をたたむ。
	1 2-④	ボタン付きのシャツをたたむ。
	1 2-⑤	ズボンをたたむ。
		衣類をタンス等に収納する。
1 3	1 3-①	衣類の種類を分別して決まったところにしまう。
	1 3-②	色々な衣類の収納の仕方が分かる。
		衣類にアイロンをかける。
1 4	1 4-①	アイロンの使い方が分かる。
	1 4-②	ハンカチやランチョンマットにアイロンをかける。
	1 4-③	Yシャツやブラウスにアイロンをかける。
		手縫いをする。
1 5	1 5-①	手縫いの手順が分かる。
	1 5-②	なみ縫いをする（糸通し、玉結び、玉止め含む）。
		ミシンを使う。
1 6	1 6-①	ミシンの使い方が分かる。
	1 6-②	直線縫いをする。
		衣服の修繕をする。
1 7	1 7-①	ボタンを縫い付ける。
	1 7-②	衣服のほつれの補修や裾上げをする。
	1 7-③	ひも通しを使ってひもやゴムを通す。
1 8		手縫いやミシンで小物を作る（巾着、手提げ袋、雑巾、ランチョンマット等）。
		革製品の手入れをする。
1 9	1 9-①	革靴を磨く。
	1 9-②	革製のカバン等の手入れをする。
2 0		洗剤や防虫剤、消臭剤等の効果や使用方法が分かる。
2 1		服や靴のリフォーム店やクリーニング店等について知る。

くらし「被服」分野 学習の構成

	衣生活に関する思考、関心、意欲	衣生活に関する知識、技能
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生徒向けキャッチフレーズ</div> 「すてきで快適な衣生活を考えよう」	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生徒向けキャッチフレーズ</div> 「すてきで快適な衣生活をつくろう」
ステップ1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">テーマ「衣服の役割」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「お気に入りの服」紹介（級友と共有） ○ 衣服の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・身体のプロテクト ・着心地 ○ 家庭での洗濯の現状（いつ、誰が、どのように） ○ 家庭で自分ができること ○ 衣類の購入（下着） 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">テーマ「洗濯の基本」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯の効果 ○ 洗濯の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・もみ洗いの仕方 ・洗濯機の使い方 ・干し方 ・たたみ方 ・収納の仕方 ○ 洗濯用洗剤に関すること
ステップ2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">テーマ「自分らしいファッション」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分に似合う服や着たい服 <ul style="list-style-type: none"> ・ファッションの流行 ・服のコーディネート ・素材や製法に関すること ○ 家庭での仕事の役割分担 ○ 衣類の購入（カジュアルウェア） 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">テーマ「衣類の快適な管理」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 洗濯機の色々な機能 ○ 衣類の取り扱い表示に関すること ○ 靴洗い ○ アイロンの使い方 ○ 衣服の修繕（ボタンつけ、ひも・ゴム通し）
ステップ3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">テーマ「社会人としての衣生活」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ TPOに応じた服装 ○ 自分に合った衣類の管理の仕方 ○ 一週間の着回しと洗濯プラン ○ 衣類の購入（社会人として必要なアイテム：Yシャツ、ネクタイ、ブラウス、アクセサリ等） 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">テーマ「知っておきたい被服のこと」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ おしゃれ着のアイロンがけ ○ しみ抜き ○ 革製品等の手入れ ○ 衣料用消臭剤や防虫剤等に関すること ○ 衣類の手入れや修繕の専門店の利用 ○ 衣服の修繕（裾上げ、ほつれの補修等） ○ 生活に必要な小物作り

3) 「評価表」改訂版の一例

くらし(被服)評価表 総合

生徒氏名：学大 二郎	3年	記入日：平成25年〇月〇日	記入者：△△、□□
------------	----	---------------	-----------

1. 衣生活に関する思考、関心、意欲

今期取り組んだ学習内容

	衣類の役割を考える。
	色々な種類の服装や流行のデザインを知り、衣服に対する興味・関心を深める。
	自分らしい服装、自分の身体に合う服装について考える。
○	家庭における衣生活に関する仕事の役割分担を考え、自分の役割を果たそうとする意欲を高める。
○	家庭における自分の役割分担の拡大やスキルアップについて考える。
○	場面や目的を考えた服選びをする。
○	服のコーディネートや着回しについて考える。
○	衣類の値段や、購入の仕方について考える。

「衣生活に関する思考、関心、意欲」に関する学習の記録、評価

授業では①社会人の身だしなみ（遊びの時と通勤時）、②衣料用雑貨の購入の仕方、③冠婚葬祭の時に着る服、④一週間の洗濯プラン、⑤成人式に着る服、⑥フォーマルの小物（ネクタイ）の購入を行いました。冠婚葬祭の時に着る服について学習し、実際に礼服のスーツを試着してスーツのイメージを持つことができました。成人式に着る服では、スーツと袴で選択させたところ、袴を選びました。袴も実際に試着しました。仲間との晴れ姿での写真撮影ではとても嬉しそうな表情を浮かべていたのが印象的でした。洗濯プランの学習後、現場実習中に家庭で新たに洗濯物を干すことに取り組みました。

2. 衣生活に関する知識、技能

- 「学習内容一覧」の「知識、技能」に関する内容のうち、下記の3項目は全生徒共通で学習しました。
 1. 衣類を管理する目的や必要性が分かる。
 2. 安全や衛生に気を付ける。（洗濯機、アイロン、ミシン、洗剤等）
 3. 必要な用具を準備したり、使ったものを片付けたりする。
- 学習内容「4～21」の項目に関しては、学年、クラス集団の実態や特性、生徒・保護者の希望等を考慮して、必要と思われる内容を学習しました。

「衣生活に関する知識、技能」に関する総合評価

どの活動もとても積極的に取り組む姿が印象的でした。靴洗いは手順をよく理解し、力を入れてこすることができていました。時間を多く設けたり環境を整えることで、着実にできるようになると思います。今後も家庭で経験を積み重ね、自信をもって取り組めるようになることを期待しています。

★学習内容「4～21」のうち、今期学習した内容の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

くらし(被服)評価表 No.5 靴洗い

生徒氏名：学大 二郎 3年 記入日：平成25年〇月〇日 記入者：△△、□□

番号	項目	経験回数	支援の方法	
			支援度	具体例等
1	袖をまくることができる(長袖着用時)。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人で行える	手順表を読んでできた。
2	ひもや中敷きを取り出すことができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	ひもをはずすことを行った。一人で根気強く取り組んでできた。
3	バケツに適量の洗剤を入れて洗剤液を作ることができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	スプーン一杯の洗剤を入れることができた。「一回」と声をかけた。
4	ブラシで靴をこする動きができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	「ゴシゴシ」と声をかけた。
5	靴全体をまんべんなく洗うことができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	見える汚れの部分は一人で落とすことができた。汚れていない部分は、「ここ」と指を指して指示を出した。
6	ひもや中敷きをブラシで洗うことができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	ひもを洗うことができた。
7	バケツの水を換えながら、泡がなくなるまでゆすぐことができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	「ジャー」と声かけをした。泡がなくなったかは、確認が必要。
8	洗った靴やひも、中敷きの水を切ることができる。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	「シャッ、シャッ、シャッ」と声かけをした。水の切り下限は確認が必要。
9	靴やひも、中敷きを干すことができる(場所の選択、乾きやすい干し方)。	2	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input checked="" type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	教員と一緒にベランダにたけかけて干した。
10	乾きを確認して、靴を取り込むことができる。		<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	
11	中敷きを靴に取り付けることができる。		<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	
12	ひもを靴に取り付けることができる。		<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	

手順表を見て進めることができた。「○番」と声をかけてあげると、自分で手順を読み、実行に移すことができていた。

4) 「被服」分野における改訂のポイント

①何を改訂したか

今年度は学習内容一覧、学習の構成、評価表の三点を改訂した。

②なぜ改訂したか

学習の構成を昨年度作成し、一年間試用した。そこで出た問題点を踏まえて改訂を行った。その際、学習内容一覧も見直す必要が出てきた。また、保護者に学習した内容を伝え、家庭での般化を促すための資料として評価表も見直した。

③どのような視点で改訂したか

●「学習内容一覧」

これまでの学習内容一覧は、洗濯機の操作や洗濯物のたたみをはじめ、必要な項目は網羅されているものの、刺繍等の活動も盛り込まれていた。また、学習の構成にある衣生活に関する思考・関心・意欲の分野と、衣生活に関する知識・技能の分野を分けて記入されていなかった。そのため、改訂した学習内容一覧はまず、衣生活に関する思考・関心・意欲と衣生活に関する知識・技能とに分けて項目を設定した。また、書式や表現等も見直し、項目がある程度時系列になるようにした。

●「学習の構成」

今年度作成した学習の構成は、それぞれのステップで設定しているテーマの表現を統一した。また、内容自体に大きな変更はないが、それぞれのステップがより段階的になるように表現を工夫した。

●「評価表」

これまでの評価表は、学習した内容を記録し、意欲的な姿勢とスキルの評価を行い、A4版1枚で家庭に伝えることが主な目的であった。しかし、学校で学習した内容を般化するためには家庭での取り組みが必要不可欠である。そこで、今年度は学習内容一覧に記載されている項目に沿って評価表を作成し直した。評価表の1ページ目は『総合』として衣生活に関する思考・関心・意欲の分野の中で学習した内容と、その学習の記録を記す。また、衣生活に関する知識・技能分野の総合評価を記すものにした。2ページ目以降は具体的に学習した内容と経験回数、見守りや手を添える等の支援度、活動の具体例を記すものにした。従来の学習したことのみを伝えるための評価表から、学校でどのような学習をして、どのような支援があればできるのかを伝えることを目的とした評価表に改訂した。

5) 実践をふりかえって

今年度作成した学習内容一覧、学習の構成を基に、本人や保護者のアンケートや対象クラスの特性等を考慮して指導計画を作成した。授業の構成は前半に衣生活に関する思考・関心・意欲の部分の学習を行い、生徒の学習に向かう気持ちを高めた上で後半に衣生活に関する知識・技能の部分の学習を行うようにした。

1 学年では身近な衣服に興味、関心を持つことを第一のねらいとした。そのため、衣服の役割や洗濯の技術などの知識や実技を習得することを目的とした授業だけでなく、制服で授業を行ったり、私服で授業を行ったりして衣服への興味、関心を高められるように工夫した。また、家庭での洗濯を誰が行っているか調べたり、自分ができることを考えたりする活動を取り入れた。

2 学年ではファッション雑誌等をもとに、様々なファッションについて知り、自分が好きなファッションについて考えることをねらいとした。様々なファッションを知る中で、洗濯絵表示やドライ洗濯、アイロンがけ等、学習内容にも幅を持たせていった。

3 学年では卒業後の社会生活に視点を置き、TPO に合わせた服装や、自分の洗濯計画等を立てて、より自分の衣生活を意識できるようにした。入社式で着る服や冠婚葬祭で必要な服について学習する際、実際にスーツや着物を着る中でクリーニング店の利用やしみ抜き等の学習を行い、衣服に関する幅広い知識や技能の獲得を目指した。

今年度改訂した学習内容一覧、学習の構成は内容がより簡潔になったため、以前より指導計画を立てやすくなった。

評価表については衣生活に関する思考・関心・意欲の部分は文章で記すことで、具体的なエピソード等を記入できた。衣生活に関する知識・技能に関しては、学習した内容や支援の方法を具体的に記入できるようになったことで、より細かい情報を家庭に伝えることができた。

6) 今後の課題

- 今年度の研究を通して、くらし被服の目指すものが明確になり、指導計画を立てることができたが、本人や保護者のアンケートの方法にも検討を加えていき、さらに生徒によりそう授業作りを目指していきたい。
- 今年度は主に衣生活に関する思考・関心・意欲の部分に焦点を当てて授業作りを行い、成果が見られた。今後は衣生活に関する知識・技能部分にも焦点を当てていきたい。
- 今回評価表を改訂したことで、より詳細な情報を家庭へ伝えることができるようになったが、学習した内容の般化を促す取り組みまで迫ることはできなかった。学校で学習した内容を家庭でも実践していくためのシステムや情報提供についても今後の課題である。

2. 住まい

1) 「学習内容一覧」改訂版

くらし「住まい」分野 学習内容一覧

1. 住生活に関する思考、関心、意欲

1	健康的で快適な住環境を考える。
2	自分の好みや生活スタイル等に応じて、自分にあった住環境を考える。
3	生活に必要な家具や道具、生活雑貨等について考える。
4	生活するために必要な部屋や、間取りについて考える。
5	家庭における住生活に関する仕事の役割分担を考え、自分の役割を果たそうとする意欲を高める。
6	家庭における自分の役割分担の拡大やスキルアップについて考える。
7	様々な暮らしの形態を考える（家族と同居、グループホーム、一人暮らし、アパート、一戸建て等）。
8	安全、安心な生活のために自分ができることを考える（防犯、防災）。

2. 住生活に関する知識、技能

1	掃除の目的や必要性が分かる。
2	掃除に適した身支度をする。
3	必要な用具を準備したり、使ったものを片付けたりする。
4	拭き掃除をする（雑巾、布巾の使い方が分かる）。
5	掃き掃除をする（ほうき、ちりどりの使い方が分かる）。
6	フローリングワイパーを使って掃除をする。
7	掃除機を使って掃除をする。
8	色々な掃除用具（ダスター、ハンドモップ、はたき、化繊雑巾など）を使って掃除する。
9	洗剤の用途や使い方が分かる。
10	窓や鏡を掃除する。
11	屋外の掃き掃除をする。
12	居室の掃除をする。
13	浴室の掃除をする。
14	トイレの清掃をする。
15	洗面所の掃除をする。
16	台所の掃除をする。
17	玄関の掃除をする。
18	冷暖房器具の手入れをする。
19	冷蔵庫の中の掃除をする。
20	ガスレンジの掃除をする。
21	換気扇の掃除をする。
22	ベッドメイキング、布団敷きをする。
23	布団干しをする。
24	電池の種類や取扱い方が分かる。
25	電球、蛍光灯の種類や取扱い方が分かる。
26	花を生けたり、飾り付けをしたりする等の生活を彩る方法が分かる。
27	住生活に関する様々なトラブルの対処法について理解を深める。
28	家庭における防犯に関する理解を深める。
29	家庭における防災に関する理解を深める。

くらし「住まい」分野 学習の構成

	住生活に関する思考、関心、意欲	住生活に関する知識、技能
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生徒向けキャッチフレーズ</div> 「健康的で快適な住まいを考えよう」	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">生徒向けキャッチフレーズ</div> 「健康的で快適な住まいをつくろう」
ステップ 1	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ「自分の部屋」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教員その他の部屋紹介 ○ 「自分の部屋、または居間」紹介（級友と共有） ○ 自分の部屋に必要な物、欲しい物 ○ 理想の自分らしい部屋 ○ 自分の部屋の掃除の現状（いつ、誰が、どのように） ○ 自分ができる部屋掃除 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ「居室の掃除」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 整理整頓の仕方 ○ 居室の掃除 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な掃除用具の使い方 ・ 基本的な掃除の流れ ○ 窓や鏡の掃除
ステップ 2	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ「家」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家を構成する必要な部屋 ○ 家の間取り ○ 家庭での掃除分担の現状（いつ、誰が、どのように） ○ 家庭で自分ができる掃除、やりたい掃除 ○ 理想の住みたい家 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ「色々な場所の掃除」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色々な住居用洗剤に関すること ○ 居室の掃除 ○ トイレの掃除 ○ 浴室の掃除 ○ 洗面所の掃除 ○ 玄関の掃除 ○ 台所の掃除 ○ 屋外の掃除
ステップ 3	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ「将来の住まい」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 色々な暮らしの形態（一人暮らし、家族と同居、アパート、グループホーム、通勤寮等） ○ 将来の住まい（どこで、誰と、どんな所で） ○ 物件探し ○ 家具、道具、生活雑貨選び ○ 安全、安心な住まいづくり 	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">テーマ「知っておくと役立つ住まいのこと」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 寝具に関すること ○ 電池に関すること ○ 照明器具に関すること ○ 家電等の掃除（冷暖房器具、冷蔵庫、ガスレンジ、換気扇等） ○ 住まいを彩る工夫 ○ 住まいのトラブル対処法 ○ 家庭での防犯、防災に関すること

3) 「評価表」改訂版の一例

くらし(住まい)評価表 総合

生徒氏名：学大 花子	2年	記入日：平成25年〇月〇日	記入者：△△、□□
------------	----	---------------	-----------

1. 住生活に関する思考、関心、意欲

今期取り組んだ学習内容

○	健康的で快適な住環境を考える。
○	自分の好みや生活スタイル等に応じて、自分にあった住環境を考える。
○	生活に必要な家具や道具、生活雑貨等について考える。
○	生活するために必要な部屋や間取りについて考える。
○	家庭における住生活に関する仕事の役割分担を考える。
○	家庭における自分の役割分担の拡大やスキルアップについて考える。
	様々な暮らしの形態や物件探しについて考える。
	家庭生活において生活を彩るための工夫をする。
	安全、安心な生活のために自分ができることを考える。(防犯、防災)

「住生活に関する思考、関心、意欲」に関する学習の記録、評価

今年度は「家」をテーマに、自分の理想の家や間取り、生活を送るために必要な部屋や場所とその役割について選んだり考えたりする学習をしました。本人は卒業したらグループホームで暮らしたいと考えているそうです。また、ベランダのついた部屋に住むこと、大好きな嵐のポスターやCDを部屋に置くことを希望していました。毎時間自分の好みを主張して積極的に取り組むことができました。「グループホームで生活するために、部屋の掃除をもっときれいにしたい」というような発言も出ました。

2. 住生活に関する知識、技能

- 「学習内容一覧」の「知識、技能」に関する内容のうち、下記の3項目は全生徒共通で学習しました。
 1. 清掃の目的や必要性が分かる。
 2. 清掃に適した身支度をする。
 3. 必要な用具を準備したり、使ったものを片付けたりする。
- 学習内容「4～29」の項目に関しては、学年、クラス集団の実態や特性、生徒・保護者の希望等を考慮して、必要と思われる内容を学習しました。

「住生活に関する知識、技能」に関する総合評価

今年度は「色々な場所の掃除」をテーマに学習をすすめました。きれいな部屋と汚い部屋の写真をみせると、「きれいな部屋がいい」「汚い部屋は、病気になるからダメ」と答えることができました。身支度では、手順表をみることで、その掃除場所に適した身支度をすることができました。ゴム手袋をつけることには時間を要しますが、自分でつけることができました。困ったときには自分から伝えることができました。準備・片づけともに自分から始めることができました。

★学習内容「4～29」のうち、今期学習した内容の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

くらし(住まい)評価表 No. 4 拭き掃除

生徒氏名：学大 花子 2年 記入日：平成25年○月○日 記入者：△△、□□

番号	項目	経験回数	支援の方法	
			支援度	具体例等
1	袖をまくることができる（長袖着用時）。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	桶と布巾を準備して、適量の水を使用することができた。
2	雑巾や布巾をもみ洗いできる。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input checked="" type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	桶の中で布巾を広げて、押し洗いのような動きをする。となりで見本を示すことで、もみ洗いの動作ができる。ただし、汚れを落とすには至らない。
3	雑巾を固く絞ることができる。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人でできる	かなり固く、水がたれないようにしっかりと絞ることができるようになった。
4	手のひらをしっかりつけて、拭く動作ができる。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人でできる	
5	テーブルをまんべんなく拭くことができる。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	「うえ、した、よこ」の声かけで、手際よく全体をふくことができた（両手を使って、前後に一往復して横にずれる動き）。
6	ゴミや食べ残しなどを取りながら、拭き掃除ができる。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	最初にテーブル上の目につくゴミや食べ物のかすを布巾でとってから、ふき掃除を始めることができた。取ったゴミ等は、三角コーナーに捨てることも理解した。
7	部屋の床を隅々まで雑巾で拭くことができる。		<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	
8	雑巾やタオルをたたんで拭き、汚れたらたたみ返すことができる。	3	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input checked="" type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	
9	板の目や畳の目に沿って、拭き掃除ができる。		<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人でできる	
特記事項	手順を理解して、自信をもってテーブルふきの課題に取り組みました。上記「5」に記したようなやり方で、テーブルをまんべんなくきれいにふくことができるようになりました。家庭でも、確実に自分でできる家事を一つずつ増やしていけると良いですね。			

4) 「住まい」分野における改訂のポイント

①何を改訂したのか

今年度は「学習内容一覧」「学習の構成」「評価表」の三点を改訂した。

②なぜ改訂したか

昨年度は、新たに作成した「学習の構成」をもとに指導計画を立て、授業実践を行った。

「学習の構成」というシステムを導入した大きな理由は、3年間の見通しの中で段階的に効率良く学習を展開する道筋を立てること、そしてその中に「生活の主体者」としての意識を育むための具体的な学習内容を位置づけていくことであった。今年度は一年間の実践を踏まえて「学習の構成」に修正を加え、一定の完成を目指した。それに伴い、「学習内容一覧」と「評価表」の在り方も再考し、改訂を図った。教員が効率良く運用でき、生徒が効果的に学習を積み重ねることができるシステムの整備を試みた。

③どのような視点で改訂したか

●「学習内容一覧」

○「住生活に関する思考、関心、意欲」(以下「思考、関心、意欲」)と「住生活に関する知識、技能」(以下「知識、技能」)の2つの大項目に分けて学習内容を整理した。「住まい」の授業を単なる「お掃除の学習」と捉えて清掃のスキルのみを焦点を当ててではなく、自分の現在および将来の住生活全般を、より主体的に考える学習の機会と考えた。

○「思考、関心、意欲」は従来の「学習内容一覧」には含まれていなかった内容である。「生活の主体者」としての意識を育み、健康的で快適な住生活を創造するための学習内容8項目で構成した。ここで重要なことは、まず、現在の自分の生活に目を向けることから始まり、その上で住生活全般に関する知識、興味、関心を深めることで生徒に潜在するニーズを新たに掘り起こすことをねらった点である。「私は○○な暮らしをしたい。」「○○な部屋に住みたい。」「○○が欲しい。」といった考えや見通しを持つことが自分の住生活をより主体的に考えることにつながると考えた。さらには、他の学習(「進路」「学級」「暮らし(生活知識)」等)ともリンクしながら、住生活に限らず、将来の生活に夢や希望を持ち、自分の人生を主体的に切り開いていこうとする力の涵養を期待した。

○従来の「学習内容一覧」にあった内容はいずれもハウスキーピングのスキルアップに必要な具体的な知識や技能であった。それらを「思考、関心、意欲」に対して「知識、技能」として括った。その際、項目を38から29に減らし、かつシンプルな表現にすることで本人・保護者へのアンケートの簡略化を図った。

○「知識、技能」では1~3、28、29の内容を新たに加えた。1~3は掃除の目的や必要性、身支度、準備・片づけ等の住生活に関する家事全般に関わる基本的な内容である。主体的な活動を支える上で改めてそれらの重要性を確認し、明記することとした。28、29に関しては、現在社会の課題として防犯、防災に関する項目を設けた。

●「学習の構成」

○昨年度の試行を踏まえて、内容の修正を若干加え、語句や表現を再検討した。「学習内容一覧」同様、「思考、関心、意欲」と「知識、技能」の2項目に分けて考えた。

○これまでに積み重ねてきた実践と課題を踏まえて、必要と思われる学習内容が、高

等部3年間のなかで、段階的に、効率よく展開できるように、学習のトピックを3つのステップに配列した。ステップ1、2、3は、原則学年をイメージした。しかし、「学習の構成」はあくまでも、教員が年間指導計画を立てる際の目安と考え、対象生徒の実態や、クラス集団の特性等を踏まえて、柔軟に扱うこととした。

○前述したような他の学習との関連を重視した。高等部1年生段階であるステップ1では、自分の部屋を見つめ直すことから始まり、ステップ3では将来の住まいをより具体的に考えるなど、生徒の経験や成長に合わせながら、トピックを段階的に配列した。

●「評価表」

○家庭への引き継ぎシートと、教員間の次年度への引き継ぎシートの役割を合わせもたせた。

○「評価表」は全生徒共通の「総合」評価表一枚と、「知識、技能」の学習内容一項目につき一枚の評価表から成る。

○「総合」評価表では、「思考、関心、意欲」の学習内容において、意識の変化や、興味の広がり等の評価しにくい面も自由記述で記すこととした。

○「知識、技能」の評価表では保護者の見やすさ、取り組みやすさを考慮して、授業での経験回数、支援の方法（支援度、具体例）、特記事項を記すこととした。それぞれの生徒の合ったやり方や、具体的にどのような支援があればできるのかを伝えることをねらった。

5) 実践をふりかえって

○「学習の構成」で各学年で扱う内容の目安ができたため、本人・保護者へのアンケートも取りやすくなり、その結果も指導計画に反映しやすくなった。

○以前は「住まいの授業」＝「掃除の学習」と捉え、「汚い」「面倒くさい」というイメージを抱いていた生徒が多かった。今年度は「健康的で快適な住まいを考えよう／つくろう」というキャッチフレーズも浸透し、「どんな所に住みたいか?」「掃除をしないとどうなるか?」など住生活について考え、仲間とも話し合い、新たな知識も得ることで「住まい」の授業全般に、より意欲的に参加する生徒が多くなってきた印象を受ける。

○一回の授業110分間のうち、1/3の時間を「思考、関心、意欲」に関する学習、その後2/3の時間を「知識、技能」に関する学習に当てることを原則とした。そして、前後半の内容を関連づけるように指導計画を工夫した。しかし、「思考、関心、意欲」の学習に関しては生徒が十分に考える時間や、仲間の意見を聞く時間の確保が難しかった。

○「評価表」を改訂したことで、従来の評価表より具体的な情報を保護者に伝えることができた。

6) 今後の課題

○「思考、関心、意欲」の学習に関する教材の蓄積と手立ての工夫が必要である。色々な種類の部屋や住宅の画像の充実や、作成中のミニチュア・ハウスの活用など、生徒がイメージを膨らませるための工夫を大切にしたい。

○「被服」「調理」の分野と比較して、元より扱う内容が多種多様であり、限られた教員数と授業回数で本人・保護者のニーズに応えることは引き続き課題である。今後、実践を積みながら、改めて「知識、技能」の学習内容の精選、または授業での扱い方を検討

する必要がある。

- 「評価表」での具体的な情報提供を手がかりに、家庭での般化を促すためのシステム作りや、担任・保護者間での継続した情報交換が課題である。

3. 調理

1) 「学習内容一覧」改訂版

くらし「調理」分野 学習内容一覧

1. 食生活に関する思考、関心、意欲

1	健康で安全な食生活を考える。
2	自分の好みや生活スタイルに応じて、自分にあった食生活を考える。
3	様々な献立を考える。
4	自分ができる方法で調理しようとする意欲を持つ。
5	家庭における食生活に関する仕事の役割分担を考え、自分の役割を果たそうとする意欲を高める。
6	家庭における自分の役割分担の拡大やスキルアップについて考える。
7	様々な食事の形態を考える（自宅での食事、給食、外食、弁当、惣菜屋の利用等）。
8	計画的な消費について理解を深める。

2. 食生活に関する知識、技能

1	自分の調理スキルが分かる。
2	道具や器具の正しい使い方が分かる。
3	様々な調理法が分かる。
4	食品の衛生管理の方法が分かる。
5	食事のカロリーが分かる。
6	食事の栄養バランスが分かる。
7	安全、衛生に気を付けて調理することが分かる。
8	食材・調味料の名前が分かる。
9	新鮮な食材を選ぶ。
10	献立に応じた食材・調味料を買う。
11	手洗いをする。
12	身支度（エプロン、三角巾、マスクの着用）をする。
13	食材、調味料類を準備する。
14	調理器具・食器類を準備する。
15	食材を洗う。
16	食材を切る。
17	加熱調理をする。
18	味付けをする。
19	盛りつけをする。
20	調理器具・食器類を洗う。
21	調理器具・食器類を片付ける。
22	ごみを捨てる。
23	流しやテーブルをきれいにする。

くらし「調理」分野 学習の構成

	食生活に関する思考、関心、意欲	食生活に関する知識、技能
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生徒向けキャッチフレーズ</div> 「健康で安全な食生活を考えよう」	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生徒向けキャッチフレーズ</div> 「健康で安全な食生活をつくろう」
ステップ 1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ「自分から参加する食生活」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の好きな食べもの ○ 自分の役割 ○ 自分ができる調理方法 <ul style="list-style-type: none"> ・加熱方法の選択 ○ 一食の献立 <ul style="list-style-type: none"> ・ごはん、汁もの、おかず 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ「調理でできることを増やす」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道具や器具の使い方 ○ 買いもの <ul style="list-style-type: none"> ・絵カード ○ 準備 ○ 自分ができる調理活動 ○ 後片付け
ステップ 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ「ひとりでできる食生活」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 得意な一品を作ろうとする意欲 ○ 家族のために調理しようとする意欲 ○ ひとりでできる調理方法 ○ 一食の献立 <ul style="list-style-type: none"> ・主食、主菜、副菜 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ「調理をひとりで行う」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調理の安全や衛生 ○ 買いもの <ul style="list-style-type: none"> ・必要な材料 ○ 調理の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・手順表を見る ○ ひとりで調理 ○ 調理器具と食器類の後片づけ
ステップ 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ「生活スタイルに合った食生活」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の生活スタイルに合った食生活 ○ 得意な料理を作ろうとする意欲 ○ 様々な調理方法 ○ 献立 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭にある材料 ○ 計画的な消費 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テーマ「調理活動全般を ひとりで行う」</div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調理の安全や衛生 ○ 栄養バランスのとれたメニュー ○ 買いもの <ul style="list-style-type: none"> ・予算内で、献立に必要な材料 ○ 調理の準備 ○ ひとりで調理 <ul style="list-style-type: none"> ・市販のレシピ ○ 調理の後片づけ

くらし(調理)評価表 総合

生徒氏名：学大 太郎	1年	記入日：平成25年〇月〇日	記入者：△△、□□
------------	----	---------------	-----------

1. 食生活に関する思考、関心、意欲

今期取り組んだ学習内容

○	毎日の食事に関心を持つ。
	家庭にある材料を使ってメニューを考える。
○	得意な一品を作ろうとする意欲を持つ。
	決められた予算内で食事ができるよう工夫する。
	自分のライフスタイルに合った食生活を考える。

「食生活に関する思考、関心、意欲」に関する学習の記録、評価

食生活に関して、何でも家の人にやってもらうのではなく、自分で調理できるようになることを目標に学習しました。具体的には母が不在時の昼食を自分で調理できるようになる。休みの日は家族のために何か作れるようになることを想定したメニューに取り組みました。

年度当初は食事に関する関心は「食べること」に対して向けられており、「調理」は母がすることと言っていました。授業の中で「調理」に対しても関心が高まりました。授業はとても意欲的に行っていました。家庭で自分のためにピラフを作ったと喜んでいましたので、次は家族のために得意な一品を作り、食べてもらう喜びを感じることができると素晴らしいです。

調理の際は、途中でも手の空いた時に調理器具を洗うと効率が良いことに気付いたり、温かいものを食べるには、作り終わってすぐ盛り付けるのではなく、食べる直前に盛り付けたほうが良いことを考えることができました。盛り付ける食器もどれが良いかよく考えていました。また、副菜やインスタントスープを購入する時、調理する主菜にあったものを選んで選ぶことができました。調理器具や食器の洗浄の際、汚れの少ないものを先に洗い、油汚れのものを後から洗うこと気づくのは難しく、理由を説明しました。

7回という少ない授業回数ではありますが、授業の目標を十分に達成できました。

2. 食生活に関する知識、技能

「食生活に関する知識、技能」に関する総合評価

手洗い、身支度、手指の消毒等についてよく理解し、一人できちんとして行うことができました。調理器具等の準備や滅菌は、家庭との違いに慣れてスムーズにできるようになりました。

調理は電子レンジとシリコンスチーマーを用いてピラフ、焼きそば、そば飯、温野菜、スープ、煮リンゴ、アップルパイを作りました。電子レンジ、スチーマーの扱いはとても上手でした。食材を切り分けることは見守りで大丈夫でしたが、レシピに合わせて切るのは、大きさや向きが難しいことがありました。調味料の計量は、練習により一人できるようになるとおもわれます。

家庭での経験が少ないようには見えず、準備～調理の大部分は見守りで進めることができましたので、レシピを見て一人で調理をすることは十分にできそうです。ただし、片づけは苦手な部分が多く、準備や調理に比較すると声かけが多く必要でした。

調理を楽しんでやっていたので、家庭でもどんどん取り組んで欲しいと思います。校内実習でお弁当に入れるピラフを作ったことを嬉しそうに話してくれました。これからも取り組む機会を増やしていけると良いです。

<らし(「調理」)評価表【グループ 2】

生徒氏名：学大 太郎	▲年	記入日：平成25年○月○日	記入者：△△、□□
------------	----	---------------	-----------

【買いもの・準備】

番号	項目	経験回数	支援の方法	
			支援度	具体例、特記事項
1	メモに応じて食材・調味料を買うことができる。	5	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人で行える	
2	予算内で食材・調味料を買うことができる。	5	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	単品の値段で何円以内の物を購入するか、買い物カードで示して買い物をした。
3	手洗いができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人で行える	
4	身支度（エプロン、三角巾、マスクの着用）ができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人で行える	
5	調理器具を準備することができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	初めは口頭の指示が必要でしたが、慣れてきたら見守りでできた。
6	食器を準備することができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input checked="" type="checkbox"/> 一人で行える	

【調理】

7	食材を洗うことができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	ザルとボールを使って洗うこと、洗ったあとの水切りをしっかりと確認しながらやった。
8	皮むき器で皮をむくことができる。	1	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	リンゴをまな板の上において皮をむいた。
9	包丁を安全に使うことができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	
10	食材を切り分けることができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	
11	レシピに合わせて食材を切ることができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input checked="" type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人で行える	概ね見守りでできましたが、時に、口頭で示したり、見本を示す必要があった。

12	調味料等を計量することができる。	6	<input checked="" type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	スプーンからこぼれて調味料が多く入らないよう、一緒にやった。
13	レシピを見て調理することができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	概ね見守りでできましたが、レシピの順番をとばしてしまっていました。何番と声かけをすると気づいて、修正することができた。
14	電子レンジを使って調理することができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	
15	見栄えよく盛りつけをすることができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	

【片付け・その他】

16	食器を洗うことができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	食器の裏側を確認しないので、泡が着いたままになっているときがあった。
17	調理器具を洗うことができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	食器と同じように、洗い残しがあった。
18	ごみの分別ができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	ゴミ入れの表示をよく見ないで捨ててしまい、分別が不十分なときがあった。
19	流しやテーブルをきれいにすることができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	汚れに気づいて自分で洗ったり拭くことができなかったので、きれいにするように声かけが必要であった。
20	調理の安全、衛生について知ることができる。	7	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input checked="" type="checkbox"/> 口頭で示す <input type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	肉（ベーコン）と、野菜のまな板の使い分け、手指の消毒、食器や器具の滅菌等について確認をした。
21	コンビニや市販の惣菜を利用することができる。	1	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	
22	会食用の食事を作り、食事を楽しむことができる。	1	<input type="checkbox"/> 手を添え一緒にやる <input type="checkbox"/> 見本を示す <input type="checkbox"/> 口頭で示す <input checked="" type="checkbox"/> 見守る <input type="checkbox"/> 一人ができる	
特記事項	<p>りんごの芯は、まな板の上りんごを置いて取りましたが難しかったです。玉ねぎのみじん切りも難しく、これからも練習が必要です。</p> <p>調味料の計量は、初めは計量スプーンからこぼれるのをあまり気にしていませんでしたが、後半はこぼさないように慎重にやっていました。</p> <p>同じメニュー（同じ手順のメニュー）を続けて調理しました。2度目は手順をよく覚えていて、とても手際よく進めることができました。</p>			

4) 「調理」分野における改訂のポイント

「学習内容一覧」及び「学習の構成」の見直しに伴い、3年間の指導計画を作成した。従来は保護者からのアンケートで指導計画を作成していたので、3年間の連続性に欠ける場合もあった。改訂後は指導計画を元に保護者からの事前アンケートを踏まえて学習内容を決定したため、3年間の見通しが持ちやすくなり、学習の積み重ねを考えて授業を組み立てることができた。また、指導計画には思考、関心、意欲も盛り込んだ。

くらし「調理」ステップ2：テーマ「ひとりのできる食生活」「調理をひとりで行う」

NO1

3年間の指導計画

学年：高1		ねらい：ひとり調理をしようとする ～簡単な昼食作り～			
回	▲関心・意欲 ■思考	メニュー	知識	技能	留意点等
1	▲「予算内で、購入できる品物」を考慮する ▲「ひとり調理をしようとする意欲」を育てる	●リンゴのデザート、給食	●買い物のしかた ●安全や衛生 ●調理室の使い方、準備の手順、後片付け ●ひとりのできる調理方法	●買い物 ●電子レンジを使う ●シリコンスチーマーを使う ●りんごを切る、皮をむく、芯を取る	●包丁、計量スプーンの使い方のスキルチェック ●手順や食材が同じメニューを続けて行う (2回目と3回目) (3回目と4回目) (4回目と5回目) (5回目と6回目) (1回目と6回目)
2	▲シリコンスチーマーで、ピラフができることに興味を持つ ▲市販の総菜やインスタントスープと主食(主菜)のバランスを考える	●チキンライス ●インスタントスープ ●市販のサラダ	●まな板の使い分け(野菜：黒) (ハム：白)	●市販の総菜の選び方 ●野菜を洗う、切る ●ハムを切る ●インスタントスープを作る ●調味料を混ぜる	●計量不要の調味料を使う
3	▲2品作る時の手順を考慮する	●好みのピラフ ●インスタントスープ ●温野菜サラダ		●スチームトレイを使う	●好みの市販のドレッシングを選ぶ
4	▲シリコンスチーマーで、焼きそばや焼きうどんができることに興味を持つ	●焼きそば ●インスタントスープ ●温野菜サラダ	●計量スプーンの使い方	●ベーコンを切る ●麺を切る ●調味料の計量	●調味料を計量して使う
5	▲「献立について」に関心を持つ	●焼きうどん ●インスタントスープ ●アスパラガスとウインナーの炒め物		●ウインナーを切る	
6	▲炊飯器でパンが作れることに興味を持つ ▲春巻きが作れることに興味を持つ	<パーティーメニュー> ●炊飯器で作るパン ●野菜とウインナーの炒め物 ●アップルパイ	●計量カップの使い方 ●炊飯器の使い方 ●オーブントースターの使い方	●卵を割る ●ホットケーキミックスを混ぜる ●春巻きの皮で包む	

くらし「調理」ステップ2：テーマ「ひとりのできる食生活」「調理をひとりで行う」

NO2

3年間の指導計画

学年：高2		ねらい：得意な一品を作ろうとする ～好みの主食(主菜)作り～			
回	▲関心・意欲 ■思考	メニュー	知識	技能	留意点等
1	▲「焼きそばと似た手順でそば飯ができること」に関心を持つ	●そば飯 ●餃子のスープ	●安全や衛生 ●調理室の使い方、準備の手順、後片付け	●ちくわを切る ●カップでスープを作る	●1年生の復習と応用(そば飯) (マヨしょう油チャーハン)
2	▲「チャーハンの味付けでマヨネーズを使うこと」に関心を持つ	●マヨしょう油チャーハン ●きのこのスープ	●流し台の掃除	●かまぼこを切る ●きのこを手でほぐす、さく	●手順や食材が同じメニューを続けて行う (1回目と2回目) (2回目と3回目) (3回目と4回目) (4回目と5回目)
3	▲「シリコンスチーマーで、ハンバーグ(風)ができること」に関心を持つ	●ひき肉と野菜の重ね焼き(チーズハンバーグ風) ●きのこのスープ ●ご飯	●ひき肉(合い挽き肉)の扱い ●ご飯の炊き方	●米をとぐ ●ご飯を炊く	
4	▲「洗い物を洗う」意欲を育てる	●ひき肉と野菜の重ね焼き		●ハンバーグのたねを作る ●食材を重ねる	
5	▲「餃子の皮でラザニアが作れること」に関心を持つ	●ひき肉と餃子の皮でラザニア ●キャベツのスープ		●餃子の皮を切る、並べる ●食材とソースを重ねる	●1～2年で学習したメニューから好みの主食(主菜)と好みのスープを選ぶ
6		●好みの主食(主菜) ●好みのスープ	●必要な人数分を作るときの食材と調味料の分量		
7	▲「パーティにふさわしいメニュー」を考慮する ▲「市販のプリンやカステラをアレンジしデザートを作ること」に関心を持つ	<パーティーメニュー> ●好みの主食(主菜) ●カステラブディング		●得意な一品を作る ●カステラの紙をはがす、切る	

3年間の指導計画

学年： 高3		ねらい： 家族のために調理をしようとする ～主菜、副菜、汁物作り～			
回	▲関心・意欲 ■思考	メニュー	知 識	技 能	留意点等
1	▲シリコンスチーマーで丼物、和え物ができることに興味を持つ ■家族のために食べてもらうために調理しようとする意欲を考える	●牛丼 ●小松菜の和え物 ●味噌汁、ご飯	●安全や衛生について ●調理室の使い方、準備の手順、後片付けについて ●牛肉の扱い	●牛肉を調理する ●丼物を作る ●和え物を作る ●味噌汁を作る	●ガス、またはIHで汁物を作る(保護者の希望による)
2	▲シリコンスチーマーで魚料理、煮物ができることに興味を持つ	●ブリの照り焼き ●アサギと厚揚げの煮物 ●味噌汁、ご飯	●魚の扱い	●魚を調理する ●煮物を作る	●手順や食材が同じメニューを続けて行う(2回目と3回目、4回目と5回目)
3	▲シリコンスチーマーでから揚げ、炒め物ができることに興味を持つ	●サバの味噌煮 ●レンコンの塩昆布煮 ●ニラ玉汁、ご飯		●ニラ玉汁を作る	
4	▲シリコンスチーマーでから揚げ、炒め物ができることに興味を持つ	●とりのから揚げ ●もやし炒め ●ニラ玉汁、ご飯	●とり肉の扱い	●炒め物をつくる	
5	▲シリコンスチーマーで肉料理ができることに興味を持つ	●とりの味噌マヨソース ●好みの副菜 ●好みの汁物		●とり肉を調理する	●一食の献立：主食、主菜、副菜、汁物
6	▲一食の献立の栄養について興味を持つ	●豚のしょうが焼き ●好みの副菜 ●好みの汁物	●豚肉の扱い	●豚肉を調理する	●1～2年で学習したメニューから好みの副菜と汁物を選ぶ
7	▲シリコンスチーマーでスポンジケーキができることに興味を持つ	<パーティーメニュー> ●好みの主食(主菜) ●ショートケーキ	●献立の立て方	●得意な一品を作る ●スポンジケーキを作る ●デコレーションをする	●1～2年で学習したメニューから好みの主食(主菜)を選ぶ

上記はステップ2の指導計画である(「住まい」と「被服」は、ステップ1～3が学年を示しているが、「調理」は、その特性と衛生と安全の観点から、アンケートを元に課題別にステップ1・2・3と3グループに分けて授業を行っている)。ステップ2の生徒は包丁スキルはあるものの、大人の見守りなしで火を使って一人で調理を行うことは難しさが残るとされるグループである。将来の生活スタイルを含めて考え、火を使わないで調理する方法を考えた。授業は電子レンジとシリコンスチーマーを用いて行った。

5) 実践をふりかえって

調理では「主体的な自己を育てる」ことに関して「思考」に着目した。思考する力を育てるためには、土台に「やろうとする関心・意欲」と「一人で進めることができる知識と技能」が必要である。指導計画にあるように、シリコンスチーマーでハンバーグ、鶏の唐揚げ、ブリの照り焼き、スイーツなど様々なメニューの調理ができることを紹介し、生徒の関心・意欲を高めることができると考えた。また、知識と技能の積み重ねとして、手順や食材が同じメニューを続けて扱うのが良いと考えた。

生徒は自分で様々なメニューが調理できることから、関心を持ち大変意欲的に取り組み、合わせてスキルアップもした。やっってもら食生活では思考する場面は少ないが、一人で進める中から、切る時にはどう置く？ 切る向きはどの方向？ 冷めないように食べるためには？ と思考する場面が確実に増えた。

<参考>家庭での般化を促す「やってみようカード」と授業後のアンケートから

- 火を使わないので安心してまかせられました。
- 自分の好みに合わせて食材を変更したり、材料の準備もできるようになったことに感動です！
- 土日の昼食やお客さんが集まった時の1品に、良く取り組むことができました。他の人に食べてもらう喜びも感じることができ、今後に生かせる取り組みとなりとても良かったです。

6) 今後の課題

今後は、作成した指導計画の妥当性の検証が課題である。あわせて包丁スキルや計量スキルに難しさがある生徒でも一人でできるように、メニューに簡易バージョンを付け加えていきたい。例えば同じメニューでも、「野菜を自分で切る」「調味料を自分で計量する」普通バージョンレシピと、「カット野菜やミックスベジタブルを使う」「市販のソースを使う」簡易バージョンレシピである。これらのレシピはスキルによって使い分けるだけでなく、時間があるときとないときによって使い分けるようにしたい。

また、家庭との連携を更に深め、般化を図っていきたい。

V まとめ

本年度の全校研究テーマにあるように、生徒自身が“主体的な自己”となり、自ら考え、選び、学習していく主体者として成長することを支援することが我々の使命である。そのために我々は3年間にわたり、高等部「くらし(実践編)」の授業づくりに取り組んできた。その結果、授業ではそれぞれの分野の技能だけでなく、それに関わる知識も含めて教えること、また、くらしを作っていくための大前提となる思考、意欲、関心を育てることの大切さに改めて気づかされた。

今年度の研究を通して、「くらし」各分野の目指すものが明確になり、学習の構成に従って指導計画を立てることができたが、今後は指導計画の妥当性の検証が課題である。また、本人や保護者のアンケートの方法にもさらに検討を加えていき、さらに生徒によりそう授業作りを目指していきたい。また、評価表を改訂したことで、より詳細な情報を家庭へ伝えることができるようになったが、学習した内容の般化を促す取り組みまで迫ることはできなかった。学校で学習した内容を家庭でも実践していくためのシステムや情報提供についても今後の課題である。

生徒の卒業後数年してから「くらし」の取り組みの成果が日常生活や社会生活でどのように活かされているのかの調査もこれから行うことになる。家庭との連携を深めながら、生徒自身が“主体的な自己”となり、自ら考え、選び、学習していく主体者として成長する姿を見守っていきたい。

参考文献

特別支援学校学習指導要領解説総則等編（高等部）（2009）文部科学省
東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要（2010～2012）